

防潮扉を遠隔操作

党県議団 安全を守るシステム視察

・知多町
・愛知南知



た【写真】。

この施設は同町役場内の専用コンピュータと堤防に設けられた水門、防潮扉、電光掲示板などを光ファイバーで結ぶもの。今年度中に整備が完了する予定で、完成すれば全62基の水門、防潮扉の閉鎖状況の確認とともに、規模の大きな11基

愛知県は、知多半島の先端部に位置する南知多町で津波・高潮防災システムの整備を進めている。予算要望などを通じ防災対策の強化を推進している公明党愛知県議団(桂俊弘団長)はこのほど、進ちょく状況を視察し

の水門、防潮扉が遠隔操作で開閉できるようになる。

県知多建設事務所河川港湾整備課によると、津波の到達時間が40～50分とされる東海地震や東南海地震に備え、防潮扉や水門の軽量化を図っているという。また、小型の水門や防潮扉は地元消防団の協力を得て閉鎖する計画。

遠隔操作による防潮扉のテスト開閉を視察した桂団長は、「住民の安全を第一に、素早く確実な閉鎖と避難ができるような連携を後押ししたい」と話し、今回の防災システムに期待を寄せていた。